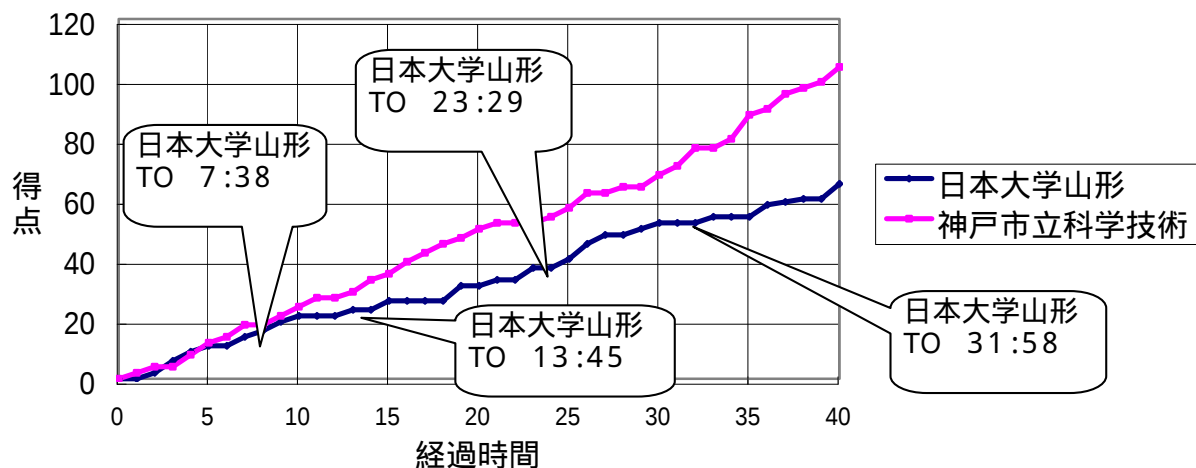


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	B4	15:00	男子 2回戦
期日会場	2007年（平成19年）7月30日（月） 唐津市文化体育館	日本大学山形 山形 ●	21 - 24 10 - 26 21 - 18 13 - 36 - 104 ○ 兵庫	神戸市立科学技術

主審宇地原 尚 彦 副審向 井 和 宏



日本大学山形

	No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
	4	沖津 祥剛	7	0	3	1	0
○	5	森川 純平	23	0	9	5	2
	6	青木 充	4	1	0	1	1
○	7	三井 栄治	6	0	2	2	4
○	8	畑 伸秀	10	1	3	1	3
○	9	今井 大樹	0	0	0	0	2
	10	山澤 勇海	3	1	0	0	0
	11	瀧口 竜士朗	0	0	0	0	2
	12	大宮 慶祐	6	1	1	1	1
	13	後藤 和磨	0	0	0	0	1
	14	渡辺 将太	2	0	1	0	0
	15	東海林 光	4	0	2	0	1
	16						
	17						
	18						
コーチ		中村 紀男					
		合計	65	4	21	11	

神戸市立科学技術

	No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
	4	道原 紀晃	23	3	6	2	2
○	5	黒川 拓馬	35	9	2	4	0
○	6	浦 栄作	18	0	9	0	2
○	7	宮下 達也	13	0	6	1	3
○	8	石坪 佑規	3	1	0	0	4
	9	小林 健太郎	3	1	0	0	0
	10	荻野 直人	0	0	0	0	0
	11	山本 拓矢	0	0	0	0	1
	12	森田 暁彦	2	0	1	0	1
	13	吉田 風太	0	0	0	0	1
	14	橋ノ口 海	7	1	1	2	0
	15	水鳥 匠悟	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		加藤 明広					
		合計	104	15	25	9	

○はスターター（はキャプテン）3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

1 回戦を圧倒的な攻撃力で勝ち上がった両チームの対戦は、持ち味をいかに発揮した神戸科学技術が65対104の大差で勝利を収めた。

第1 P、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。神戸科学技術は# 7 宮下の速攻、# 6 浦のゴール下シュートで先制するも、日大山形# 5 森川がゴール下で踏ん張りすぐに追いつく。両者主導権を譲らず21対24で第1 Pが終了した。

第2 P、神戸科学技術は# 4 道原の3 P、# 7 宮下のゴール下シュートでリズムを掴むと、ここから一気に突き放す。6 分、23対33となった所で日大山形がタイムアウト。ディフェンスを3 - 2ゾーンに変え活路を見出そうとするも、神戸科学技術# 5 黒川の3 Pが効果的に決まり31対50とリードが広がり前半を終了した。

第3 P、日大山形は# 8 畑、# 5 森川のバスケットカウントで追い上げを図るも、神戸科学技術# 5 黒川の3 P、# 6 浦のジャンプシュートでなかなか点差が縮まらない。52対68で最終ピリオドを迎えた。

神戸科学技術# 5 黒川の3 連続3 Pから第4 Pがスタート。日大山形もアウトサイドシュートで追撃するも力及ばず、3 Pを9 本決めた# 5 黒川の活躍で神戸科学技術が3 回戦へ進出した。

記者 金岩貴之 (所属) 佐賀県バスケットボール協会